

部活動などの活躍

《女子バレーボール部》

荒川区夏季選手権総合体育大会
女子 第3位 第5ブロック大会出場



表彰を受けるバレー部の皆さん

《フラワーアレンジメント部》

天王祭に作品を奉納！

部員16名のアレンジメント作品が
素盞雄神社の境内で展示されました。



3年〇〇さんの作品



3年〇〇さんの作品



天王祭の期間、境内で展示された作品の数々。



3年〇〇さんの作品



3年〇〇さんの作品

南千住マイスターのコーナー

名所案内はこの境内を「飛鳥の杜」と紹介しています。好む江戸の文人たちには「飛鳥さま」の名が好まれ、当時の「お天王さま」と親しまれている素盞雄神社ですが、風雅を四季折々の変化をみせるこの境内を「飛鳥の杜」と言います。など(次号「素盞雄神社」その2で紹介予定も多々あります。銀杏の周囲は、桃の御守に因む一重八重、紅や白の桃の木々が茂り、少しばかり緑の多い場所になっており、文人の碑祈願したといわれ、今も安産・子育てを願う絵馬がたくさん結ばれています。南千住二中の校歌にも「銀杏の大樹を仰ぎ見る」という歌詞があります。瑞光石を中心にして、この

毎年6月3日をご縁日として、この素盞雄大神に因む二天棒神輿による勇壮な「天王祭」が行われます。また、9月15日には飛鳥大神に因む「飛鳥祭」の祭禮日と定められています。さて、素盞雄神社には瑞光石以外にも多くの史跡があります。境内には「子育ての銀杏」と呼ばれる樹齢5、6百年の大樹があります。この銀杏は母乳の出ない婦人がその皮を煎じて飲み、周囲に米の研ぎ汁を撒いて幼児の無事成長を祈願したといわれ、今も安産・子育てを願う絵馬がたくさん結ばれています。南千住二中の校歌にも「銀杏の大樹を仰ぎ見る」という歌詞があります。瑞光石を中心にして、この川底まで続いているといわれています。千住大橋架橋の際はその「瑞光石の根」にぶつかり、杭が打てなかつたといわれています。



素盞雄神社
瑞光石

南千住の史跡・文化財 第3回 『素盞雄神社』その1

国道4号線、千住大橋の南詰めに「素盞雄神社」があります。素盞雄神社は南千住地区をはじめ、町屋、三ノ輪、三河島と荒川区内で最も大きい鎮守の神社です。素盞雄神社は平安時代の795(延暦14年に創建された)と伝えられています。そのはじめは、修験者・役小角(えんのおずの)の弟子・黒珍が小高い丘の上の奇岩を霊場として日夜礼拝していると、突如その岩が光を放ち、素盞雄大神、飛鳥大神が翁に姿を変えて降臨し神託を授けたため、祠を建てたと伝えられています。境内にはその奇岩「瑞光石」があります。この瑞光石はとても大きく、隅田川の川底まで続いているといわれています。千住大橋架橋の際はその「瑞光石の根」にぶつかり、杭が打てなかつたといわれています。



題字:校長 齊藤 進



学校だより
平成28年6月
第64号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

すさのお 素盞雄神社天王祭

校長 齊藤 進

6月4日5日に恒例の天王祭が行われました。毎年、この時期になると街は祭り一色に染まり一層賑やかさが増す光景を見ることができます。南千住の西側地域では「天王祭」と書かれた小さな札を玄関に掲げている家が多くあることから天王祭が人々の暮らしの礎いしずえになっていることがうかがえます。

ここで素盞雄神社と天王祭について「歩いて学ぼう南千住検定」(齊藤進編著、南千住第二中学校発行)を基に触れたいと思います。素盞雄神社は素盞雄大神と飛鳥大神にはしろの二柱を祭神とする神社で、平安時代の延暦14(795)に創建したと伝えられています。南千住、三河島、町屋ちんじゆの鎮守で地元では「天王様」と呼ばれています。

境内には瑞光石がありますが、素盞雄大神と飛鳥大神が翁おきなに姿を変えて降臨した奇岩といわれ、「瑞光荊石すいこうけいせき」とも称されています。瑞光石がある塚を「小塚」と呼んだことから、小塚原の地名の由来となっているという説もあります。

さて、素盞雄神社天王祭は61カ町総代をはじめ、氏子うじこ崇敬者参列のもとに執り行われます。京都の祇園祭と同様に夏に流行する疫病えきびやうを祓う都市型の祭礼です。本祭は3年に一度行われ、本社神輿ほんしやみこしとぎよ渡御が行われます。大神輿は千貫神輿と称され、4間半(8.1m)の長柄が左右に各1本、合計2本の「二天棒」となっています。渡御の際には神輿を地面すれすれまで左右に倒し振り合う「神輿振り」という壮大な光景を見ることができます。



海老江重光氏撮影



綱引きの様子(東都歳時記)

江戸時代の寛政、文化、文政(18世紀末~19世紀初)頃には選御のタイマツ送りや、千住大橋の上に長い綱を渡し両側で引き合って、勝敗でその年の作物の出来を占う綱引きなどが盛大に行われたそうです。

地元町会である瑞光、上町、志茂、南千住二丁目、河原崎、通新町、諏訪若、奈番、六本の各睦の皆様には神輿担ぎ等で本校生徒が大変にお世話になりました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

ありがとうございました。

運動会

6月13日(土)、穏やかな日差しの中、南千住第二中学校第28回運動会が行われました。今年も学年優勝を目指すクラス対抗戦と総合優勝を目指す色別対抗戦で、さまざまな競技が繰り広げられました。早朝から校庭に掲げられた黄組、白組、赤組の団旗はこの日の熱い戦いを宣するように生徒たちを鼓舞します。はじめの入場行進はまさに各色の団結力を表すものでした。吹奏楽部の演奏に合わせて、生徒会長の〇〇〇〇くんを先頭に生徒会役員が続き、黄組、白組、赤組の順で入場しました。足並みをそろえた美しい隊形、そして胸を張り堂々と歩く姿はたいへん立派で、観覧のお客さまから大きな拍手が沸き起こりました。



校旗を掲げる生徒会長の〇〇〇〇くん



威風堂々の入場行進

開会式では、実行委員会委員長〇〇〇〇さんの力強い選手宣誓が行われ、各色の応援旗を持って周りを囲んだ各クラスの実行委員も誇らしげな表情があふれました。また、吹奏楽部の校歌演奏とともに生徒会役員の手により校旗が掲揚され、運動会がはじまりました。最初の演技はラジオ体操。実行委員会副委員長〇〇〇〇くんが前に立ち、模範演技を行う中、全校生徒の息が合った、素晴らしい演技になりました。



選手宣誓する〇〇さん

午前の部は、1年男子の短距離走から始まりました。選手の名前が読み上げられるたびに、応援の声が上がります。中学校に入って初めての個人競技に緊張しながらも、どの選手も最後まで力走し、ゴールは歓声に包まれました。つづいて色別対抗棒引きが行われました。棒引きは2,3年生から男女それぞれの選手が選ばれて競います。白熱した引き合いは男女ともに黄組が勝利をおさめました。1年女子の短距離走では、全員が一生懸命走る姿が見られ、クラスで各色で応援が盛り上がりました。赤組では名物のスカイツリーダンスが今年も登場し、会場を沸かしました。

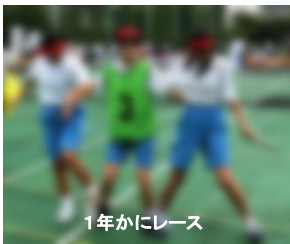


男子棒引き



女子棒引き

1年生の学年種目は「かにレース」。男子は4人5脚、女子は3人4脚で横ばいになりバトンをつなぎます。練習で苦戦した横歩きも本番では飛ぶように跳ねる走法でスイスイ進み、勝ったのは黄組(1組)でした。2年生の学年種目は「ハコハコビー」。はじめは小さな箱2つ、順番が進むにつれて箱の数が増え、最後には金色の箱も加わり、運ぶ箱は十数個に上ります。お助け隊としてレスキュー部も登場し、箱拾いをお手伝い。チームワークの勝利を決めたのは、赤組(2-2)でした。



1年かにレース



2年ハコハコビー

午前の部のハイライトは、選抜選手による各学年の学級対抗リレーです。この日のために、バトンの受け渡しの練習や走順などの作戦を重ね、本番では白熱したレースが繰り広げられました。午前の最後はPTA参加競技の「綱引き」が行われ、今年もたくさんの保護者・地域の方々が参加してくださいました。ありがとうございました。

午前の部を終えた段階で赤組と黄組が僅差で優勢。少し離されて白組と続き、勝負は午後からの競技に持ち越されました。

地域清掃

5月31日(火)の5・6校時に、全校生徒による地域清掃が行われました。地域清掃は、南千住二中が全校加盟しているJRC活動の一環として、毎年行っています。

給食終了後、着替えをして全校生徒が校庭に集合。出発式では、JRC委員会委員長の〇〇〇〇くんの「日頃お世話になっている地域をきれいにしましょう」というあいさつに続き、副委員長の〇〇〇〇〇さんから清掃活動の手順・分別の説明と「地域をきれいにし、自分の心もきれいにしよう！」という呼びかけに皆気合が入りました。

出発式の後、持参したビニール袋と軍手、JRC委員から手渡された鉄バサミを手に地域に繰り出しました。学年ごとにエリアを決め、3年生は南千住6丁目、2年生が5丁目、そして1年生は2丁目・7丁目を担当しました。

一目見てきれいな道路も道端や植え込みの中に目を向けると色々なゴミが落ちています。タバコの吸い殻が多いのには驚きました。植え込みの枝の隙間や排水溝の淵も鉄ばさみを使っていねいにゴミを拾いました。年2回の地域清掃は地域のなじみとなり、すれ違う地域の方々から「ご苦労様」「いつもありがとう」などと声をかけて頂く機会も増えました。

およそ90分の清掃で集まったゴミの量は大きな90ℓのゴミ袋に15袋にのぼります。その後、JRC委員がビン、缶、ペットボトルをひとつずつ洗って分別し、およそ1/3のゴミは資源としてリサイクルされました。終わった後は、自分たちが生活する地域がきれいになり、地域のために貢献できたという満足感に笑顔があふれました。



隅々まできれいに清掃しました



JRC委員がごみを分別



ビンなどは洗ってリサイクルへ

レスキュー部発足！

今年度で5年目を迎えるレスキュー部。これまでの活動が広く認められ、昨年度は消防庁の「第20回防災まちづくり大賞 防火・防災協会賞」などの大きな賞を受賞し、中学校防災部の先駆けとして全国的に注目されています。

その発足式が6月2日(木)に行われました。今年度の入部者は242名。全校生徒の約2/3にのぼり、南千住二中生の防災意識の高さが伺えます。部長には、〇〇〇〇さん、副部長には、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんの3人が決まり、これからの活躍が期待されます。

《主な活動内容》

絆ネットワーク 学校だよりや行事のお知らせなどを地域の高齢者宅へお届けし、絆を結んでいます。

地域の防災訓練に参加 消防署、荒川区や南千住地域の防災訓練に参加。

夏季防災訓練 昨年度は、学校が避難所になったことを想定して避難所開設訓練を行いました。

地域行事のお手伝い 地域のイベントにボランティアとして参加。



南千住第二中学校
レスキュー部



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

VOLUNTEER



松田副校長先生の話に関き
入るレスキュー部の皆さん

2年生 下田移動教室

1日目

6月6日(月)から8日(水)までの2泊3日、2年生は下田移動教室に出かけました。出発は天王祭の翌日でしたが、集合時間に全員が元気な顔で揃いました。出発式では、実行委員長の〇〇〇〇くんが、「スローガンの‘きりかえ スマイル 助け合い 感謝感謝の三日間’のとおり、感謝の気持ちを忘れずに行動しましょう」とあいさつしました。バスは予定通り、伊豆高原に広がる広大な自然公園「さくらの里」に向かって出発しました。

1日目は大室山の散策をしました。さくらの里で班ごとに昼食後、リフトで大室山へ登りました。山頂からは、伊豆半島や天城山を見渡すことができました。ときどき青空がのぞく空の下、お地蔵さんや様々な動植物との出会いを楽しみながら、およそ1時間かけて散策を楽しみました。大室山ふもとはからはバスで学園へ。入園式で、学園の方に全員でご挨拶をして、各部屋に入り、荷物の整理をしたあとは、係に分かれて、食事や入浴の準備などの係活動をしました。

お風呂でさっぱりして、美味しく夕飯をいただいた後は、シークラフトの体験学習を行いました。シークラフトとは、海でとれた貝やガラスなどを使って写真立てなどを作成することです。思い思いに写真立ての縁を飾っていきます。色もデザインも個性あふれる作品の数々は、霜月祭(本校文化祭)で展示の予定です。



爪木崎にて、全員で記念撮影！

2日目

実行委員の〇〇〇〇さんの司会で朝礼をした後は、全員で元気にラジオ体操をしました。「切り替えを意識して5分前行動を目指そう」と、移動の多い一日になるため、実行委員の〇〇〇〇さんから声掛けがありました。

午前中は寝姿山へハイキング。標高200mの山頂までは急な山道もあり、弱音を吐く人もいましたが、皆で励まし合ったり、歌を歌ったりして頑張りました。下田港や伊豆七島を見渡す山頂からの景色は最高！疲れも忘れて、写真を撮って、景色を眺めて、楽しみました。寝姿山をロープウェイで下り、午後は下田海中水族館を見学しました。イルカやアシカのショーをはじめ、中にはアザラシの体に触れる体験ができた人もいました。2日目の最後はバスで爪木崎に向かい、美味しいソフトクリームを満喫しました。

夜は待ちに待ったレク大会「きもだめし」。学園の端にある204号室には、泊った人だけが体験する恐怖が待っています。全館を暗くして、食堂からホール、渡り廊下、空いて

いる1階の部屋、そして……204号室へと向かいました。いたるところから悲鳴や助けを求める叫び声が響く大盛り上がりレクになりました。

果たして204号室の謎とは……!?

来年につづく…。

レク大会への招待状(右)と204号室に現れた謎の怪人(左)



リフトで大室山へ



シークラフト体験学習



寝姿山にハイキングへ



下田海中水族館

3日目

最終日は小田原城址公園へ。小田原城の天守閣の内部は、歴史資料館になっています。小田原城の甲冑・刀剣・絵図・古文書など、小田原の歴史を伝える資料や、武家文化にかかわる資料などが展示されており、班ごとに見学しました。最上階からは相模湾が一望でき、この日は良く晴れていて、房総半島まで見ることができました。

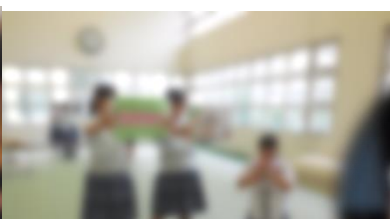
帰路もバスは順調。16時過ぎに学校に到着し、解散式が行われました。学年委員長の〇〇〇〇さんが「この3日間の経験を生かし、よりけじめのつく、切りかえのできる学年になろう!」と呼びかけ、成果を改めて確認しました。天気にも恵まれ、楽しく素晴らしい思い出が沢山できた3日間でした。



最後に小田原城を見学

1年生・3年生 校内地域学習

6月14日(金)の5・6校時に校内地域学習が行われました。南千住地域には、たくさんの施設や有名な通り、神社やお寺などがあります。これらの史跡や文化財を37ヶ所に分けて、校内の1・2階の教室やフロアを利用し、3年生がワークショップ形式で訪れる1年生に説明。1年生は3年生から説明を受けると、カラフルなマイスターシールがもらえます。3年生による講座は、3年間の地域学習の成果であり、「地域を語る中学生」としての実力を存分に発揮して、実に趣向を凝らした内容のものばかり。たとえば、コツ通り・栗友亭では、落語の寄席を模して、歴史や人物の話を身振りを加えて紹介。また、素盞雄神社の瑞光石では、毎年霜月祭の舞台でおなじみの神々が登場。寸劇で、瑞光石誕生のエピソードを紹介しました。その他にも、タブレットを使ったり、紙芝居で物語にまとめたり、クイズ形式にしたりと、工夫を凝らした演出で、1年生にわかりやすく楽しく説明しました。1年生は今回の地域学習で学んだことを元に、7月1日に行われる地域めぐりのコースづくりを行います。3年生から1年生へ地域の歴史や文化、伝統が引き継がれました。



3年生による趣向を凝らした地域学習



各色の応援団旗



昼食後、各色の応援団が紹介され、競技が再開されました。午後のはじめは色別対抗綱引きでした。女子の綱引きでは3回戦で勝負がつかず、運動会史上初の再試合へ。その結果、男女とも赤組が勝利！しかしここから白組が巻き返します。つづく1年、2年の全員リレーでは、1年生は2位、2年生は1位と一気に挽回しました。



3年男子大ムカデ

3年生の学年種目は毎年恒例の「大ムカデ」。しかし今年の大ムカデは迫力もスピード感もひと味違いました。からだを密着させ、大きく横に足を振り上げる斬新な走法でつまづく回数もぐんと減り、息の合ったリズムでスピードアップ。とにかく早い大ムカデに応援席からも観客席からもどよめきと大きな拍手が起こりました。これまで3年生は中学校生活最後のこの団体競技に向けて毎日練習を続けてきました。皆で心をひとつにして駆け抜けたゴールは、笑顔

と涙にあふれていました。

そして競技の最後を飾るのは、各色の精鋭を集めて行われた色別対抗リレーです。優勝争いを担う者として、スタートラインに立つ代表選手たちの表情に気迫がみなぎります。各色の応援団席からは声を限りの大声援が送られます。スタート音とともに



3年男子色別対抗リレー

に、1年生女子、男子、2年生女子、男子、3年生女子へとバトンが渡され、いよいよアンカーの3年生男子へ。黄組が先頭との差をつめようとしたときアクシデントが起こり、その結果1番にゴールテープを切ったのは赤組、つづいて白組。そして黄組でした。バトンを落とし大きく水をあけられても、最後まで全力で走りぬいた黄組アンカーの姿に会場から惜しみない拍手が送られました。勝敗に一喜一憂した後、互いの奮闘をたたえあう選手たちの表情は実に爽やかに満足感に満ちていました。

全競技を終えた閉会式で、結果発表が行われました。実行委員〇〇〇〇さんからまず学年対抗の部の優勝が発表されました。1年生は接戦を制し3組が優勝。つづいて2年生の発表で驚きの結果がもたらされます。「優勝は1組！180点」1組の喜びの声にかき消されながらも実はつづきがあったのです。「2組180点…」2年生一同互いに見合わせキョトンとした表情に…。さらに発表はつづきます。「3組180点、同点で全クラス優勝です！」一瞬の静寂のあと、いまだかつてない記録に割れんばかりの拍手が送られ、2年生の強い団結力をたたえました。3年生はやはり僅差で



最終結果



優勝に湧き上がる赤組！

1組が優勝。そして色別対抗の部の発表では、「赤組510点、白組457点、黄組492点で、第28回運動会の優勝は赤組です！」の声に赤組から喜びの歓声があがりました。結果発表の後、閉会式では毎年恒例となっている、吹奏楽部の演奏に合わせた全校生徒による校歌の大合唱で、運動会の幕はおろされました。入場行進、応援合戦、色別応援旗、全力で取り組

んだ競技、同点優勝など、南千住二中に新たな歴史が刻まれた運動会でした。そして準備から片付けまで様々な仕事で運動会を支えてくれた実行委員の皆さん、本当に疲れさまでした。

運動会に際しては、保護者、地域の皆様にも大変ご協力をいただきました。近隣の方にも早朝から大音量の放送など、大変ご迷惑をおかけいたしました。ご理解・協力ありがとうございました。



運動会を除で支えた実行委員の皆さん